

皆さん ご卒業おめでとうございます。

■卒業。巣立ちの時という大きなお祝いです。小学校、中学校の学業を一つひとつ修めながら、立派に成長して、今日の日を迎えたあなた方を、誇らしく思います。

□小学生として、中学生としての生活に終止符を打つ今、皆さんの胸のうちには無数の思い出がよぎり、別れの名残惜しき、そして新たな扉の前に立つ期待感、という特別の感情が入り混じっているのではないのでしょうか。

□皆さん一人ひとは、ご家庭の愛娘(まなむすめ)。同時に精道の先生たちの大事なみじょ娘です。ですから、みんなが揃ってここに集うのが最後かと思うと、私たちも感無量の思いがこみあげます。初めて出会った時の、あのあどけなかつた姿が今に重なって見えてきます。月日の流れは早いもの。しかし多くの出会いと学びに彩られた、その月日の恵みは、確実にみじょ娘たちをかしこく、たくましく成長させました。

□35期生の皆さんは小学校を卒業します。とても快活で子どもらしく、勉強にもいろいろな活動にも、熱心に打ち込んできました。この1年間は最高学年として、縦のつながりも大事にしながら過ごす姿を微笑ましく見ていました。みんなで取り組んだ、キッズゲルニカやジュシカをモチーフにした劇は、努力と一致による感動の実りでした。皆さんは学校中に、長崎中に、平和の使者としてメッセージを伝えてくれましたよ。これまで身につけた学習の基本、心の基本を大切に、自信を持って、中学校へ進学してください。

□32期生の皆さんは、精道学園を卒業します。34人の大所帯。34色の個性派揃い。しかしみんなが、みんなのその人らしさを大事にするから、数の多さに埋もれることなく、みじょ娘一人ひとりのカラーは3年間でますます生き生きと輝いていました。創立40周年を迎えた今年に、皆さんが精道の長女。元気な応援合戦、心を一つに歌い上げた美しく軽快な合唱や、愉快的ミニオン姿でのおもてなしは、さすがでインパクトがありました。しかし何より日々の笑顔とユーモア、熱さやさしき、一致団結に向かう努力を通して、あなた方は学校に活気と落ち着きの両方をもたらしてくれたと思います。あのテーマのように、精道の船が元気にこぎだしていく、よき節目の一年となりました。

■皆さんの旅立ちに寄せて、お花に因んだお話しをしたいと思います。薔薇の花です。ちょうど、6年生のキッズゲルニカに描かれたシンボルの一つは、大きなロザリオ。ロザリオは聖母マリアに捧げられる薔薇の花束のような祈りです。そして3年生作製の、正面玄関を鮮やかに飾ったローズウインドウ。薔薇窓と言うゴシック建築のステンドグラスの窓を模したアートでした。

□創立者の聖ホセマリア・エスクリバー神父様の言葉です。

「薫り高く咲き誇る薔薇(ばら)は、手を刺す棘(とげ)の間にある。」

ホセマリアは、薔薇の花がお好きでした。なぜでしょう。またこの言葉は、どのような意味をもつのでしょうか。

□ホセマリアにとって生涯でもピンチの時、最もつらい時がありました。それはちょうどピカソのゲルニカの絵が物語るスペイン内乱の時です。司祭であるというだけで捕まえられ、命を奪われるという状況の中で、国外脱出を試みた時でした。緊張と疲れとの最中に、大きな心の暗闇にさいなまれました。

この道を進むべきか、引き返すべきか。自分の命だけでなく多くの人の人生もその決断にかかっています。神様から託された使命を実現しようと前進してきたことが、本当によかったのかどうかが見えずに、身体的にも精神的にも大きな悩みに涙しました。

苦しみの中に一夜を明かして、朝、破壊されたお聖堂の近くを歩いていた時に、瓦礫のちった道端で、不思議なことに完全な形を保った木製の彫刻のバラの花を見つけました。きっとお聖堂の聖母像のそばに飾られていたものでしょう。大事に拾い上げ見つめました。感謝と喜びと勇気が湧いてきました。「進み

なさい。恐れずに。」薔薇の花は、神様からの答え、聖母が示した優しいしるしだ、とホセマリアは理解したのです。

□「薫り高く咲き誇る薔薇は、手を刺す棘の間にある。」

自然の薔薇（ばら）には、たくさん棘（とげ）があります。花を摘もうとすると、痛い。しかし、その痛みを忘れるほどに、薔薇は美しく芳しい香りを放ちます…。ホセマリアはそう話されたそうです。

■さて、皆さんはこれから進学し、希望いっぱいの道を歩んでいきます。新鮮で楽しい日々を夢に描いて前進してください。確かに素晴らしい毎日が待っていますから。しかし進む道がいつも順風満帆か、というと、それは甘い夢物語。自分の道を切り開いていく時、そこには必ず、大なり小なりいろいろな試練があるはず。まさに winding road。曲がりくねった道です。分からないこと、思い通りに行かないこと、失敗や孤独、やる気が消えた…。もう、分かっていますね。それは、あなたを、本当の愛、本当の自由へと導くための試金石です。度々、自分の中にも、外からも、小さな戦いの時がやってくることでしょうが、それはいくつもの小さな薔薇の花を手に入れるチャンスなのかもしれません。

□それに、あなたはお飾りのために、棘がないように人工的に組み替えられ、時に着色され、大量生産された花ではありません。見栄えはいいけれど、すぐにしなびるものとして生まれてきたものではありません。あなたには、明暗織りなすこの世の真ただ中で、雨にも風にもさらされて育つ剛（つよ）い花であって欲しいのです。しっかりと大地に根を張って、太陽の陽を浴びて、周囲にかぐわしい香りを放つ野薔薇のように、凛々しく力強く生きる人、喜びの香りを広げる人であって欲しいのです。そう、そのために、皆さんは、愛深い家庭に生まれ、ここ精道で学んだのです。

■これから未来を担っていくのは皆さんたちです。現実を見れば、いろいろな課題を抱えた社会です。環境の問題、IT 技術とモラルの問題、国際間の平和の課題。人々がしあわせになる方向へと進んでいくためには、多くの知恵を結集していかなければなりません。大きな課題かもしれませんが、まずは足元の小さなこと、家の中のこと、友達との間のことから始めていくことができるでしょう。あなたには、あなたならではの役割が必ずあります。一人ひとりの魂に生きいき宿っている“考える力、愛する力”は、しあわせになるために神様から授かったものです。これまでもあなたの働きで、笑顔を広げ、絆をつむいできました。しあわせの担い手になったのです。また、疲れた時は、誰かの笑顔、誰かの懐に慰めと力を得たのです。これからも周りの人と手を携えて、しあわせづくりに貢献することができます。

□ですから、新しい生活に、新しい社会に、勇気と希望をもって飛び込んでください。人々や世界の、今と未来を心に容れて祈り、地に足をつけて、歩むのです。歩む道の途上で出会う、痛みや苦労にへこたれてはいけません。「薫り高く咲き誇る薔薇は、手を指す棘の間にある。」

□気高い愛と幸せを望むものとして、困難や逆境の意味と価値を知るものとして、笑顔と朗らかさを忘れずに、一步一步、歩み続けるのです。恵みの雨があります。希望の太陽もあります。きっと、あなたらしい色を着けた、大輪の花を、生きる喜びがみなぎるかぐわしい花を咲かせることができますよ。

□皆さんは、どこにいても神様のみじょ娘です。どうぞ誇りと使命感を持って元気に羽ばたいてください。32期生 35期生の皆さんの旅立ちを心からお祈りしています。

■保護者の皆様方、お嬢様のご卒業おめでとうございませう。立派に成長され、小学校・中学校を卒業する日を迎えました。心よりお祝い申し上げます。皆様方と出会えたことは大きなお恵みと感謝しております。惜しみないご協力、ご理解と信頼によって、学校を支えてくださいました皆様、心からお礼を申し上げます。

□教職員一同、卒業生とご家族の皆様方のお幸せをお祈りしつつ、式辞とさせていただきます。